

**〔特集〕 創立50周年記念事業報告  
祝賀会**

建築・デザイン学科  
金子 哲大

野上プレジデントホテル4階ワンフロアを使用し  
て開催された合同祝賀会・同窓会合同懇親会は、同  
年4月に発災した熊本地震で犠牲になられた方々の  
ご冥福をお祈りする黙祷をささげた後に開式した。  
同会は、産業理工学部・九州短期大学の創立50周  
年を祝う記念行事であるとともに、毎年開催されて  
いる産業理工学部・九州短期大学の合同同窓会とし  
て企画・開催されたものである。大学関係の来賓、  
国際シンポジウムでパネリストを務められた各国の  
先生方、同窓生、退職された教職員、現役の教職員、  
台湾の国立虎尾科技大学短期留学生、大学院産業理  
工学専攻の学生、学友会の学生等、多彩な老若男女  
500名超が出席し、盛大のうちに幕を閉じた。  
式次第の詳細は左記のとおりである。

近畿大学 産業理工学部・九州短期大学  
創立50周年記念合同祝賀会・同窓会合同懇親会

平成28年6月4日18時開式・(於) のがみプレジデントホテル4階

- 黙祷
- 開式
- オープニングムービー
- 筑紫舞演舞
- 学校法人近畿大学 理事長挨拶
- 同窓生代表挨拶
- 来賓祝辞・乾杯
- 懇親
- アトラクション
- 謝辞
- 近畿大学応援部 記念演舞
- 閉式

宗家 西山村 津奈寿  
近畿大学 理事長 清水 由洋  
産業理工学部 同窓会 会長挨拶 藤本 繁喜  
九州短期大学 同窓会 会長挨拶 上尾 優子  
近畿大学校友会会長 西村 松次  
産業理工学部 吹奏楽部 記念演奏  
産業理工学部・九州短期大学 合同企画  
産業理工学部 学部長 荒川 剛



産業理工学部 吹奏楽部 演奏



筑紫舞 演舞



九州短期大学の学生達によるパフォーマンス



出席者で賑わう会場

筑紫舞の厳かな雰囲気、懐かしい方々と出会えた懇親の時間、アトラクションにおける吹奏楽部の見事な演奏と九州短期大学の学生達によるダンスパフォーマンス、そして大阪より遠征いただいた近畿大学応援部の迫力ある記念演舞と盛りだくさんの楽しい内容であった。出席者約500名に対して会場の広さに限界があり、一部着席の来賓の方々を除き立食形式で実施せざるをえなかったことを大勢の方々に對して大変申し訳なく思う一方、「たくさんの方々が集う楽しい会にしたい」という当初の思いを達成できなかったことに、同会開催に関わった者それぞれに満足感が感じられた。その影には、大学本部と調整された事務部職員の方々、日頃から大学に愛情を持って接して頂いている同窓会実行委員会の方々のご尽力があったことを書き留めておきたい。

開催のための準備は、昨年の夏過ぎから開始された。創立50周年記念行事と同窓会懇親会を兼ねるために、産業理工学部・九州短期大学・産業理工学部同窓会・九州短期大学同窓会の4者により作業を行った。4者とも良い会にしたいという思いの中、立場による会の在り方に対する考え方の差異の調整に時間を要したが、年が明けてからは毎月2回の同窓会実行委員会の定例会議に産業理工学部の担当も出席して意思疎通も良好になり、詳細な事項を詰めることができた。

多くの参加者をどうやって集めるかが最大の課題であった。教員は定年になれば退官していくため、現役の教員が連絡を取り得る卒業生の数に限界があったからである。また、毎年開催されている同窓会への出席者は、どちらかと言えばご年配の方々が多く、若い世代の出席者が少ないという現状もあった。そこで、同窓会の持っているネットワークをフル活用して広報していただくと同時に、微力ながらも各現役教員には個人で繋がっている卒業生への連絡をできる範囲でお願いした。その結果、思いの他若い世代の出席者が多く、今後の同窓会の一層の発展に繋がる契機になったと思われる。

当日の受付業務は、毎年同窓会を開催しノウハウを持っている同窓会実行委員会が主導になり、教員と大学院生が補助として活躍してくれた。手際の良い同窓生出席者の名簿作成業務など、普段教員の立場では知ることの出来なかつた同窓会の力量に敬意を表したい。また、同窓会からの素敵なプレゼントとして、八木山バイパス横にある大型ビジョンに創立50周年記念および学部紹介の映像を来春まで放映していただく予定である。重ねて感謝の意を表したい。

式典および祝賀会・懇親会の出席者には、産業理工学部教員によるオリジナルデザイナーの時計を記念誌とともにお持ち帰りいただいた。この時計は、強風で倒木した産業理工学部キャンパスに50年間植えられていたヒマラヤ杉で製作したものである。これからの時を皆様と共に刻んでいきたいとの思いが込められている。



八木山バイパス横の大型ビジョンに映される大学広報



近畿大学応援部 記念演舞



記念品：ヒマラヤ杉で製作した置時計



国際シンポジウムパネリスト・台湾留学生と荒川学部長